



もくじ

安全上のご注意	2
取扱上のお願い	3
商品概要	3
各部のなまえとはたらき	4
操作のしかた	5
1. ご使用前の確認	5
2. 電池の持続時間	5
3. 電池が消耗すると	5
4. ご使用後は	5
上手な使いかた	6
使用上のご注意	7
電池カバーの開けかた	8
充電のしかた	8
マイクモードの設定について	9
PAD(ハカ感度切換え)について	9
電池(乾電池/専用充電式電池)交換について	10
グループ/チャンネルの設定について	12
こんなときは	14
保証とアフターサービスについて	15
消耗品について	15
商品の廃棄について	15
主な仕様	16

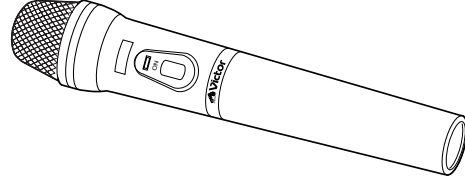
ワイヤレスマイクロホン

型名 WM-P760 WM-P762

技術基準適合証明書

抗菌

取扱説明書



イラストはWM-P760です

— お買い上げありがとうございます。—
ご使用前に、この取扱説明書と同封の「電池の取扱いについてのご注意」をお読みの方え、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なおきお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠️ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠️ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⚠️ 警告

この機器を分解、改造しないでください。
またこの機器の改造は法律でも固く禁じられています。



分解禁止

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
機器の故障や、電池の漏液、発火、破裂、火災の原因となります。



充電端子を絶対にショートさせないでください。
機器の故障や、電池漏液、発火、破裂、火災の原因となります。



⚠️ 屋外で使用時、雷が鳴りだしたら人体からこの機器を遠ざけてください。



金属類と一緒に持ち運ばないでください。
充電端子のショートにより、発熱発火の原因となります。



専用の充電式電池・充電器以外は使用しないでください。
専用用品以外を使用すると、発熱・発火の原因となります。



⚠️ 注意

この機器を濡らさないでください。
水などの液体が入ると、発熱、感電、機器の故障の原因となります。



通気やほこりの多いところ、また、炎天下の車内や暖房機器の近くなど高温の場所での使用、放置はしないでください。
故障の原因となります。



取扱い上のお願

技術基準適合証明ラベルは大切に取扱ってください。
 この機器には、「技術基準適合証明書」をあらわす証明ラベルが貼ってあります。
 みだりに剥したり、損傷のないようにしてください。

水をかけないでください。
 ●本機は、防水仕様になっておりません。
 室内プールなど、湿気の多い場所ではご使用にならないでください。また、汗、水滴などが
 からないようにしてください。故障の原因になります。

お手入れは乾いた柔らかい布でおこなってください。
 ●濡れたぞうきんなどで拭くと、故障の原因となります。また、アルコール、シンナー、ベンジ
 ンなど揮発性のものをかけたりしないでください。

充電端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
 ●端子が汚れていると、接触不良となり、充電できなことがあります。

専用の充電式電池(別売の専用充電器に付属)は消耗品です。
 ●専用の充電式電池の充電回数は約500回です。
 これ以上の回数を過ぎた場合や、また古くなった場合など、充電をおこなっても機能が回復
 しなくなったら、電池の寿命とお考えください。
 このようときは、指定の新しい充電式電池をお買い求めください。



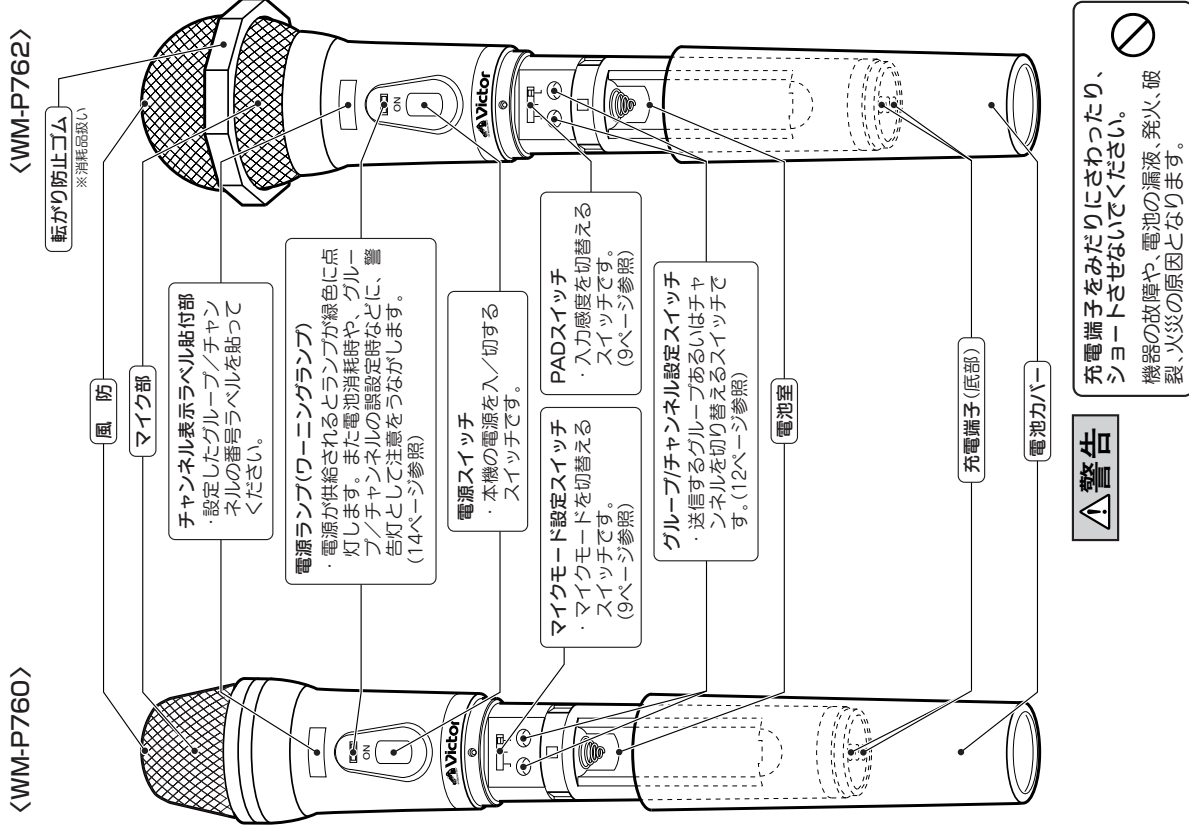
Ni-Cd

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池
 リサイクル協力店へお持ちください。
 直射日光のあたらない、風通しのよい場所に保管してください。
 ●長期間(2週間以上)使用しないときは、乾電池あるいは専用充電式電池を必ず本機からはず
 してください。

商品概要

- 〈WM-P760〉
 - スピーチモードとボコーラルモードを兼備したハンド型のワイヤレスマイクロホンです。
- 〈WM-P762〉
 - ダイナミック型ユニットを搭載したボコーラル用ワイヤレスマイクロホンです。
 - PADスイッチにより、入力感度を3段階に切り替えることが可能です。
- 〈WM-P760/WM-P762〉
 - PLLシンセサイザー方式の採用により、800MHz帯B型ワイヤレスマイクに割り当てられ
 た30波の周波数設定が可能です。
 - 雑音低減回路を採用していますので、雑音が少なく、小さな音から大きな音まで歪みの少な
 い集音ができます。
 - 空中線電力は5mWのハイパワーです。
 - 電源は単3形乾電池と、充電式(別売の専用充電器を使用)の2ウェイ電源方式です。
 - 抗菌処理を施しています。

各部のなまえとはたらき

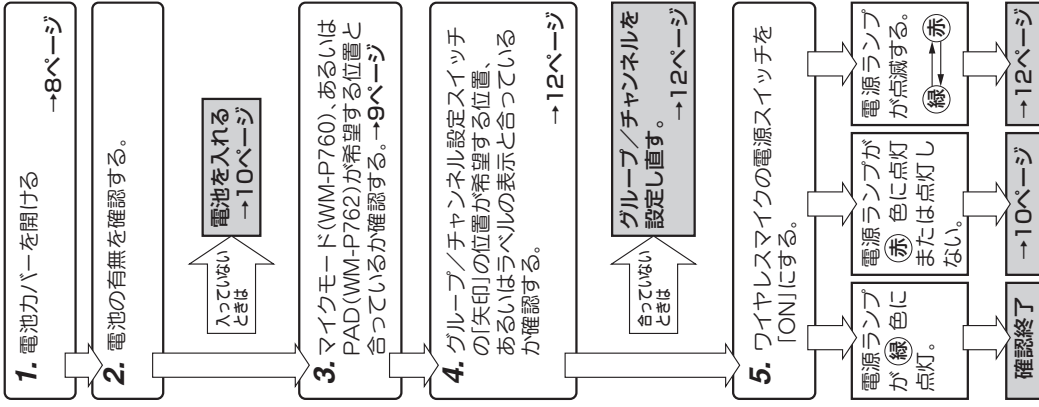


操作のしかた

1. ご使用前の確認

安心してお使いいただくために、ご使用前には必ず下記の内容をご確認ください。

■ 確認手順



2. 電池の持続時間

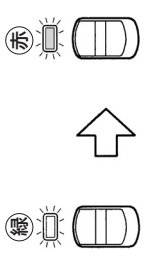
本機の連続使用時間は次のとおりです。

使用電池	持続時間
新品のマンガン乾電池 R6PU(NB)	9時間
新品のアルカリ乾電池 LR6(G)	22時間
満充電後の専用充電式電池	8時間

ご注意
持続時間はあくまで目安です。使用状況や、電池の状態、周囲の温度などにより変動します。

3. 電池が消耗すると

電池が消耗してくると、電源ランプが(緑)→(赤)に変わります。



ご使用中に電源ランプが(赤)に変わったら、電池を交換するか充電してください。電池交換、あるいは充電時期は次のとおりです。

使用電池	電池交換あるいは充電時期
乾電池	電源ランプが(赤)に変わってから1時間以内
専用充電式電池	電源ランプが(赤)に変わってから10分以内

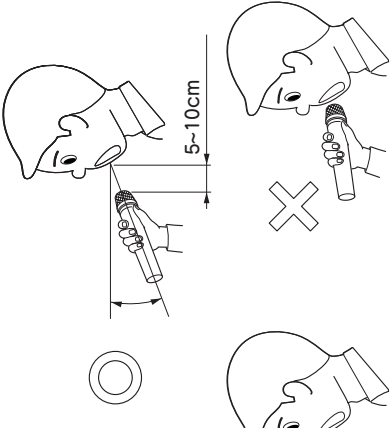
ご注意
電池交換あるいは充電時期はあくまで目安です。使用状況や、電池の状態、周囲の温度などにより変動します。

4. ご使用後は

ワイヤレスマイクの電源を切ります。電源ランプの消灯を確認してください。

上手な使いかた

■マイクの持ちかた
マイク部を口と平行から少し傾く程度に、口との距離が5~10cm程度の位置にできるように持ってください。



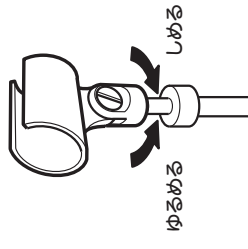
声が細く、小さくなる。

低音が強調されモゴモゴし、吹きノイズが自立的

■マイクスタンドを使う

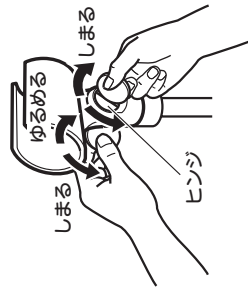
準備

- 別売のマイクスタンドをご用意ください。別売のマイクスタンドについては、お買上げ販売店または最寄りのビクターサービス窓口にお問い合わせください。



マイクホルダーをスタンドへ取付けるには図のようにマイクホルダーを矢印の方向(しめる方向)へ回します。

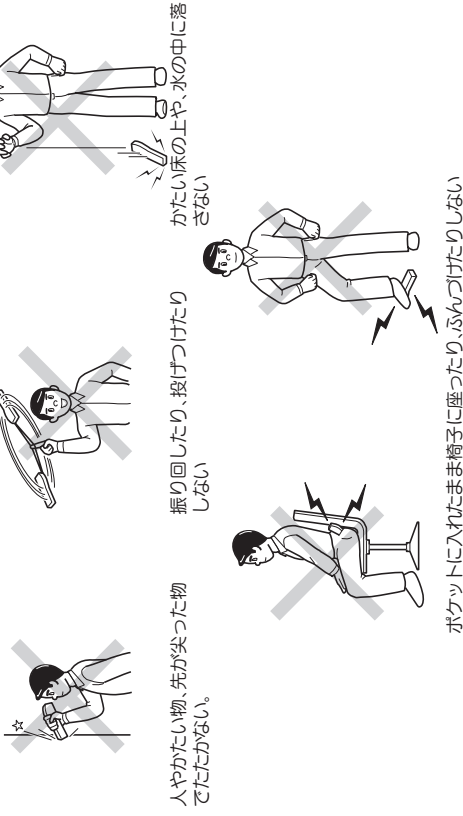
マイクホルダーの角度を調節するときは、ヒンジ部分をコインなどでゆるめてください。



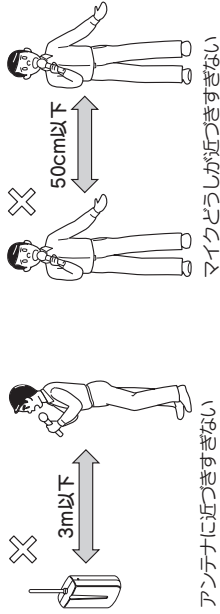
マイクを持つときと同じように、位置合わせをしてください。

使用上のご注意

■本機は精密電子機器です。故障の原因となりますので、下記のような取り扱いはいししないでください。



■相互妨害について
混信や妨害を起こすことがあります。次のような使用はおやめください。



MEMO

■携帯電話について
本機の近くで携帯電話の発着信があると、ノイズ(ジーあるいはブーンという音)が発生することがあります。お互いに離れて(3m以上)ご使用ください。

■ハウリングが起きたとき
ハウリング現象(ピーンあるいはキーンという音)を起こした場合は、ワイヤレスマイクの方向、位置などを変えるか、スピーカーから離れてください。ワイヤレスチューナーの音量を絞ることも効果的です。

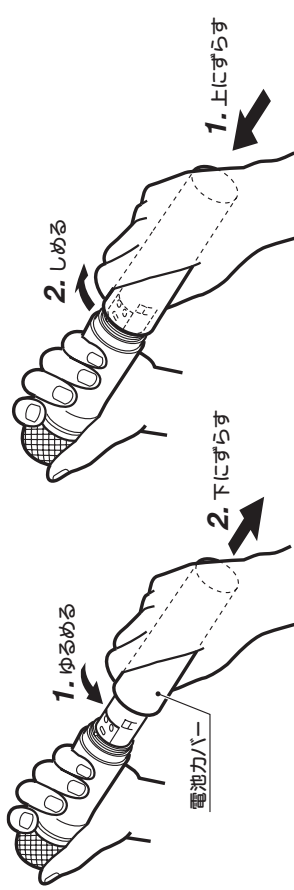
電池カバーの開けかた (ネジ式)

開けかた

1. スイッチのある本体部分を押さえ、電池カバーを矢印の方向(ゆるめる方向)へまわします。
2. ネジがはずれたら、電池カバーを下にずらします。

閉めかた

1. 電池カバーを上にはずらして、ネジどうしを合わせます。
2. スイッチのある本体部分を押さえ、電池カバーを矢印の方向(しめる方向)へ、しっかりとまわして閉めます。



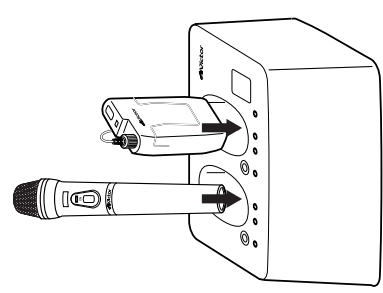
充電のしかた (専用充電器の取扱説明書もお読みください)

準備

- 別売の専用充電器WT-C62をご用意ください。

充電のしかた

1. ワイヤレスマイクの電源を切ります。(電源ランプの消灯を確認してください) 電源スイッチが「ON」のままですと正しく充電できません。
2. ワイヤレスマイクを直接、専用充電器に差し込んでください。差し込むときは、マイクの方向に注意してください。



詳しくは専用充電器の取扱説明書をお読みください。

マイクモードの設定について (WM-P760のみ)

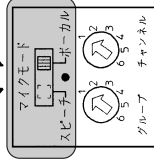
ポイント

ホテルの宴会場や、学校での式典などで、歌や音楽などの集音に使用される場合、ボーカルモードをおすすめします。スピーチモードにくらべ、低音の効果があがるとともに、より大きな音に対して歪みにくくなります。

設定のしかた

1. 電源スイッチを切ります。(電源ランプの消灯を確認する)
2. 電池カバーを開けます。
3. マイクモード設定スイッチを、希望する側にスライドさせます。
4. 電池カバーをもとどおりにしっかり閉めます。

スライドさせる



MEMO

- 工場出荷時のマイクモードは「スピーチ」に設定しています。
- スイッチの「」の位置での使用はおやめください。音はですが、正しい集音ができません。

PAD(入力感度切替え)について (WM-P762のみ)

ポイント

入力感度はPADスイッチで0dB、-6dB、-12dBの3段階に切り替えられます。大きな声(歌声など)を出したとき、音が歪む場合は、感度を下げてご使用ください。大きな音に対して歪みにくくなります。

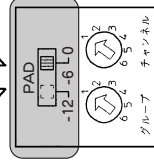
最大入力音圧の目安

PAD	最大入力音圧
0 (dB)	130dB SPL
-6 (dB)	136dB SPL
-12 (dB)	142dB SPL

設定のしかた

1. 電源スイッチを切ります。(電源ランプの消灯を確認する)
2. 電池カバーを開けます。
3. PADスイッチを、希望する側にスライドさせます。
4. 電池カバーをもとどおりにしっかり閉めます。

スライドさせる



MEMO

- 工場出荷時のPADは「0」に設定しています。

電池(乾電池専用充電式電池)交換について

準備

- 乾電池は市販の単3形(アルカリまたはマンガン)乾電池1本をご用意ください。
- 専用充電式電池は、別売の専用充電器WT-C62に付属されているものをご使用ください。

MEMO

- 本機に付属の乾電池は動作確認用です。
- 専用充電式電池については、お買上げ販売店、または最寄りのビクターサービス窓口案内にお問い合わせください。

電池交換のしかた

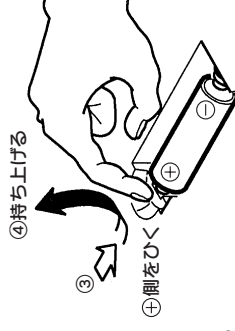
1. 電源スイッチを切ります。(電源ランプの消灯を確認する)

2. 電池カバーを開けます。

既に電池が入っている場合は、

3. 電池の (+) 側を図のように矢印の方向に指で引きながら

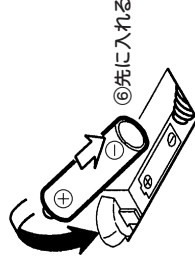
4. 持ち上げて、取りだしてください。



5. 乾電池または専用充電式電池の (+) と、電池室の (+) の表示を合わせ

6. 電池の (-) 側から図のように入れます。

7. 電池カバーを元どおりにしっかり閉めます。



グループ/チャンネルの設定について (ワイヤレスチューナーの取扱説明書もお読みください)

電池交換がおわったら

電源スイッチを「ON」にして電源ランプが(緑)色に点灯することを確認してください。

こんなときは

電源スイッチを「ON」にしたとき、

電源ランプが(赤)く点灯する

■ 乾電池に交換したとき
古い電池だったようです。電池の交換のしかたの手順に沿って新品の電池に再度交換してください。

■ 専用充電式電池に交換したとき
充電が必要です。すぐに専用充電器で充電してください。

電源ランプが点灯しない

■ 乾電池に交換したとき
電池が正しく取付けられていないか、古い電池のようです。電池交換のしかたの手順に沿って、再度電池を正しく入れ直すか新品の電池に交換してください。

■ 専用充電式電池に交換したとき
電池が正しく取付けられていないか、充電が必要です。すぐに専用充電器で充電してください。



● 専用充電式電池を初めてご使用になる場合や、長期間使用していなかった場合には、ご使用になる前に必ず充電してください。

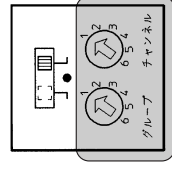
設定の前に

設定の前に次のことをご確認ください。

1. グループおよびチャンネルは、組合わせ表の中から選んでください。

<グループ/チャンネル組合わせ表>

呼称	チャンネル	1	2	3	4	5	6
B	1	B11	B12	B13	B14	B15	B16
	2	B21	B22	B23	B24	B25	B26
	3	B31	B32	B33	B34	B35	B36
	4	B41	B42	B43	B44	B45	B46
	5	B51	B52	B53	B54	B55	
	6	B61					

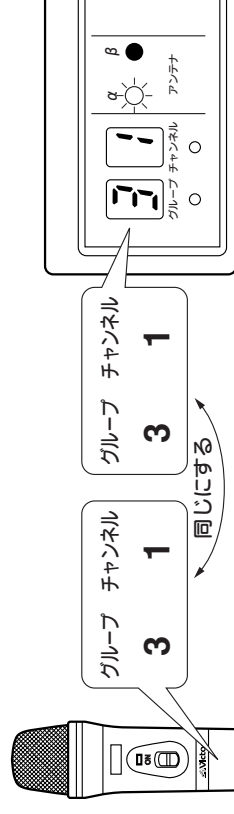


↑ 30波

ご注意

組合わせ表にない設定や、 部分の設定は使用できません。

2. ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナーが同じように割り付けます。

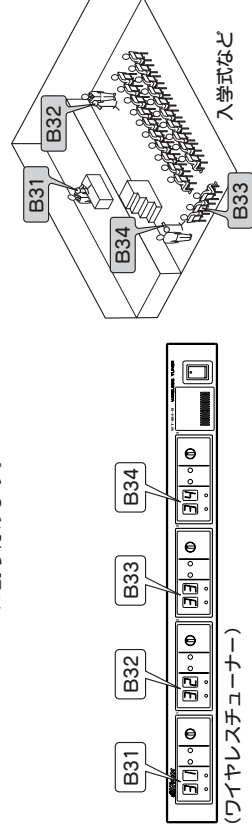


3. 同一場所で、ワイヤレスマイクを同時に2本以上使用する場合は、

全て同じグループ

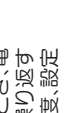
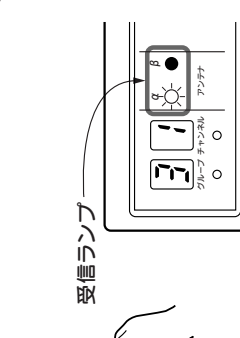
全て違うチャンネル

に割り付けます。



こんなときは

使用中に不具合が生じた場合は、下記の内容をお調べください。それでも症状が改善されないときは、お買上げの販売店またはビクターサービスマニュアル窓口にお問い合わせください。

症 状	チェックする箇所	処 置	参照ページ
電源スイッチを「ON」にしても、電源ランプが点灯しない。	・電池は正しく取付けられていますか。 ・電池切れになっていませんか。 [充電電圧] ↑ [充電] ↑ [乾電池]	・電池を正しく入れ直してください。 ・充電してください。 ・新品の乾電池と交換してください。	⑩ ⑧
電源スイッチを「ON」にしたとき、または使用中に電源ランプが赤く点灯する。または赤色に点滅する。	・電池が消耗しています。 [充電電圧] ↑ [充電] ↑ [乾電池]	・充電してください。 ・新品の乾電池と交換してください。	⑩ ⑧
電源スイッチを「ON」にしたとき、電源ランプが緑と赤の交互点灯を繰り返す。	・グループまたはチャンネル設定スイッチが正しい位置にありますか。	・グループまたはチャンネル設定スイッチを正しい位置にしてください。	⑫
電源スイッチを「ON」にしたとき、または使用中に電源ランプが緑色に点滅する。	—	・お買上げ販売店またはビクターサービスマニュアル窓口にお問い合わせください。	—
送受信できない(ワイヤレスチューナーの受信ランプが点灯しない)。	・ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナーは同一のグループおよびチャンネルに設定されていますか。 [グループ/チャンネル] ↑ [グループ/チャンネル] ↑ [同じにする]	・ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナーを同一のグループおよびチャンネルに設定し直してください。 	⑫
雑音が多くなり、音が途切れたりする。(ワイヤレスマイクを1本のみ使用)	・アンテナから離れすぎた場所にはありませんか。 ・マイクの近くに金属類、または携帯電話、PHS等の無線機器はありませんか。	・アンテナに極力近づいてください。 ・マイクと金属類、または携帯電話、PHS等の無線機器を離してください。	⑦
雑音が多くなり、音が途切れたりする。(ワイヤレスマイクを2本以上同時に使用)	・グループおよびチャンネルの設定が同じマイクはありませんか。 ・ワイヤレスマイク同士が近づきすぎていませんか。 ・ワイヤレスマイクとアンテナが近づきすぎていませんか。	・グループおよびチャンネルを正しく割り付けてください。 ・ワイヤレスマイク同士の間隔を50cm以上離してください。 ・ワイヤレスマイクとアンテナの間隔を3m以上離してください。 	⑦ ⑫

設定のしかた

- 電源スイッチを切ります。(電源ランプの消灯を確認する)電源が入ったまま(電源ランプが点灯した状態)ですと、設定できません。
- 電池カバーを開けます。
- グループ設定スイッチの「矢印」を「クリック」に合わせて希望する位置まで回します。
- チャンネル設定スイッチの「矢印」を「クリック」に合わせて希望する位置まで回します。
- 電池カバーをもとどおりにしっかりと閉めます。



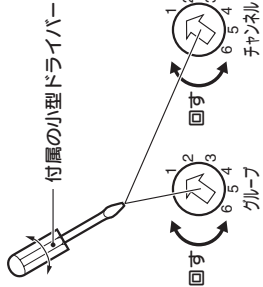
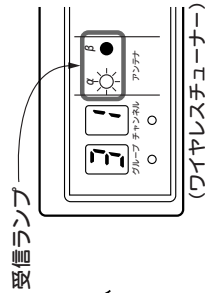
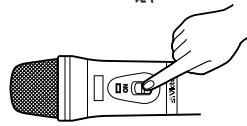
- 工場出荷時のグループ/チャンネルは「B31」に設定しています。
- 万一、電源を入れたまま、グループあるいはチャンネルを変更したときは、一度電源を切り、2～3秒してから再び電源を入れ直してください。前の設定がキャンセルされ、自動的に新しい設定に変わります。

設定の確認

設定が終了したら、ワイヤレスマイクの電源を入れ、電源ランプが緑色(電池が新しいとき)に点灯することを確認してください。



- 近くにワイヤレスチューナーがあるときは、ワイヤレスマイクの電源を入れたときワイヤレスチューナーの受信ランプが点灯することを確認されると確実です。

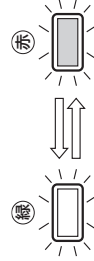


ご注意

スイッチを頻繁に回すことや、強い力で押しつけることはおやめください。故障の原因となります。

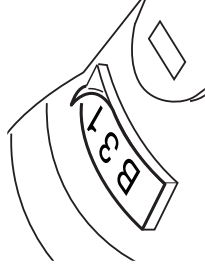
こんなときは

ワイヤレスマイクの電源を入れたとき、電源ランプが緑と赤の交互点灯を繰り返すときは、設定に誤りがあります。再度、設定を見直してください。



設定がおわったら

付属のチャンネル表示ラベルを本体の所定の位置に貼ることをおすすめします。



保証とアフターサービスについて

保証書(別添)

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

ワイヤレスマイクロホンWM-P760およびWM-P762の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です

この期間は、通産省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。サービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは、「こんなときは」をお読みになり、もう一度お調べください。それでも具合が悪いときは、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	ワイヤレスマイクロホン
型名	WM-P760またはWM-P762
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の自印等も併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料	故障した部品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教養費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部品等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合がございます。

出張修理

主な仕様

(本機の仕様及び外觀は、改善のため予告なく変更することがあります。)

型名	WM-P760	WM-P762
送信周波数	806.125~809.750MHz間の125kHzステップ30波	
電波型式	F3E	
発振方式	水晶制御PLLシンセサイザ方式	
変調方式	直接周波数変調方式	
空中線電力	5mW	本体内蔵方式
周波数偏移	±5kHz(94dB SPL)	±5kHz(100dB SPL)
コンプレッサ	1/2対数圧縮コンパンド方式	
実用到達距離	約80m(屋外の見通しの良い場所で、当社製チューナー/WT-892とアンテナ/WT-Q830との組合せ時)	
マイクロホン型式	単一指向性エレクトレットコンデンサ型	単一指向性ムービングコイル型
P.A.D	—	0/-6/-12(dB)3段階切替式
マイク音質	[スピーチ]/「ボコーラル」切替式	—
最大入力音圧	130dB SPL(マイクモード:「ボコーラル」時)	142dB SPL(PAD:「[-12]」時)
電源(使用電池)	DC1.5V(単3形乾電池×1)または、DC1.2V(専用充電式ニカド電池×1)	
電池寿命	約9時間(単3形マンガン乾電池/R6P(NB)使用、常温で連続使用時)	
動作温度範囲	0℃~+40℃	
外形寸法	φ41(最大径)×220(長さ)mm	φ51(最大径、転がり防止ゴム含まず)×227(長さ)mm
質量	131g(電池含まず)	189g(電池含まず)
仕上り	—	抗衝性ABS樹脂、ダークグレー
付属品・添付物	保証書 ビクターサービス窓口案内 電池の取扱いについての注意 取扱説明書 チャネル表示ラベル マイクホルダー ソフトバッグ 単3形乾電池(動作確認用) 小型ドライバ(チャネル設定用)	

お客様ご相談センター

東京	(03)5684-9311 [代表] FAX (03)5684-9317
大阪	(06)6765-4161 [代表] FAX (06)6765-4891
大塚	〒545-0028 東京都文京区本郷3丁目4-7 ビクター本郷ビル
大塚	〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目4-7 ビクター本郷ビル

日本ビクター株式会社

システムネットワーク事業本部

〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2 電話 (0426) 60-8392 [ダイヤルイン]

消耗品について

この取扱説明書の中で、消耗品と記載されているもの、および「小型ドライバ」などの付属品は、保証期間内でも有償とさせていただきます。お買求めの際は、お買い上げ販売店、または最寄りのビクターサービス窓口にお問い合わせください。

商品の廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。